

放送運行監視 AI「VMO-AIPlus」 テレビせとうち・TVQ 九州放送が導入 ～初の放送局導入、8 月より稼働～

株式会社テレビ北海道(TVh、本社:札幌市)が開発した、AI(人工知能)によるテレビ放送運行状況自動監視システム「VMO-AIPlus」(※特許、商標登録出願中)が、テレビせとうち株式会社(TSC、本社:岡山市)および株式会社 TVQ 九州放送(TVQ、本社:福岡市)に採用されました。同システムが放送局へ導入されるのは今回が初の事例となり、両局にて 8 月 1 日より本格稼働を開始します。

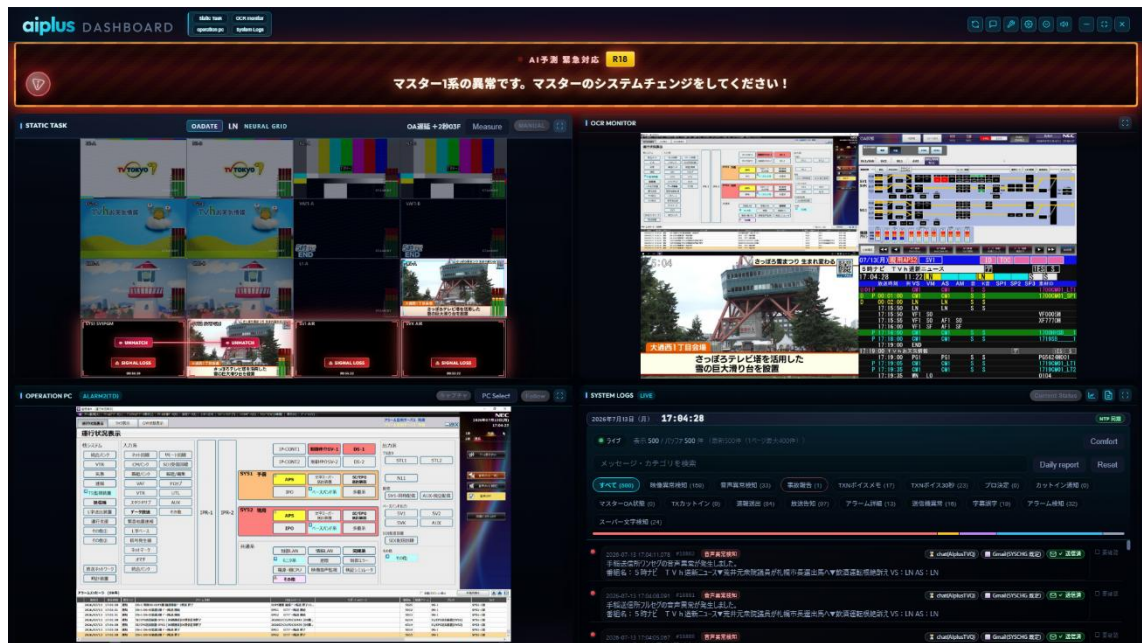
「VMO-AIPlus」は、マスター(主調整室:放送の最終送り出しを行う重要設備)業務のリモートオペレーションを可能にした TVh の独自システム「バーチャルマスターオペレーター(VMO)」の技術をベースに、新開発の AI を用いて放送の監視を自動化したシステムです。

今回、新機能としてスマートフォンとの連携機能を開発・搭載しました。これにより、緊急地震速報や特別警報といった緊急速報スーパーの画面や映像を担当者へ自動で送付可能になります。また、マスターや送信所でのアラーム発生状況もリアルタイムで通知されるため、マスター室外にいる担当者や関係者も、手元のスマートフォン等から即座に状況を把握・確認できます。

さらに、地震・気象速報のカットイン時刻の記録や、字幕・スーパーの誤字自動チェック機能を搭載しました。加えて、マスター室内での会話の文字起こし・共有による引き継ぎ業務の円滑化や、アラーム情報に関する疑問に AI が答えるチャット機能も備えており、監視業務の一層の効率化を実現します。

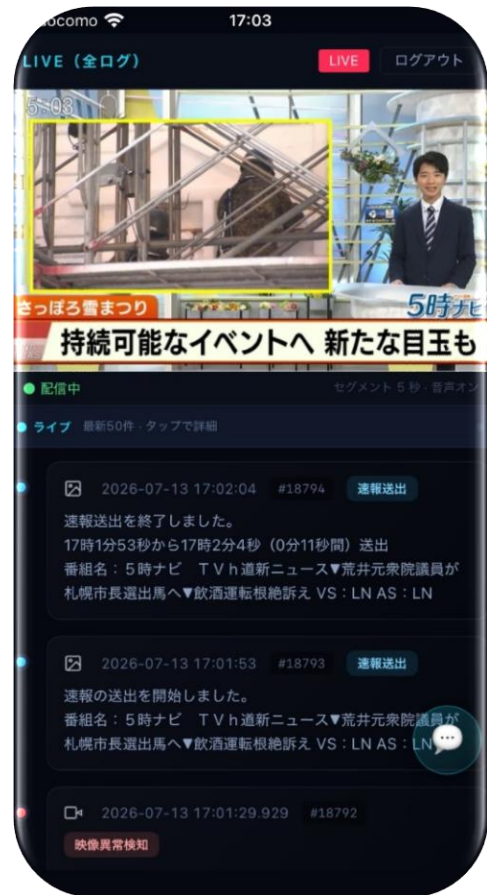
この新機能を搭載した最新型の「VMO-AIPlus」は、11 月 18 日(水)～20 日(金)に幕張メッセで開催されるメディア総合イベント「Inter BEE 2026」にて実機展示を行います。

TVh は「VMO-AIPlus」の提供を通じ、全国の放送局におけるマスター業務の一層の省力化と、災害時等の BCP(事業継続計画)強化など、安全運行の実現に貢献してまいります。



VMO-AIPlus アラーム検知・操作指示画面(イメージ)

アラーム発生時の録画画像が
スマートフォンに自動で届く
(イメージ)



【問い合わせ先】

テレビ北海道

技術・DX 推進局

VMO 推進室

高橋康二

高橋寿也

Tel: 011-232-1122

Tel: 011-232-7157